



算数の話 2

九九をおぼえること

- ◎ 「ににんがし」「にさんがろく」…。2年生の子供たちは、元気に九九の学習を頑張っています。これから学習していく算数の内容は、九九がわかっていることが大事になるので、今後のためにも九九の学習はとても大切ですね。
- ◎ この「ににんがし」「にさんがろく」…は、1から9までの掛け算を表にまとめ、語呂よく覚えやすいように工夫されたものです。ところが、この工夫でかえって九九が記憶しづらくなってしまっている子供がいるのです。
 - ・「ににんがし」「にさんがろく」が「 $2 \times 2 = 4$ 」「 $2 \times 3 = 6$ 」と結び付けて記憶することが難しい子供がいるのです。むしろ「に かける には、よん」「に かける さんは、ろく」としたほうが記憶しやすいというのです。
 - ・口に出したり、耳に聞こえてきたりすると、わからなくなってしまうという子供もいます。九九の表を見ているほうが記憶しやすいというのです。「見て学ぶ」タイプでしょうか。

自分に合った学び方を

- ◎ 各教科の指導方法については、各分野の専門家が長年研究を重ねてきて出来上がったものです。現在でも研究は続いています。しかし、子供たちの学び方は様々です。長年研究を重ねてきた指導方法でもうまくいかないケースがあるのです。
- ◎ 私たち大人でも、例えば、行ったことがないような場所にどのようにして行くかについて、順を追って言葉で説明されるほうがよいのか、地図を渡されて「それを見ながら来てください」とされるほうがよいのか。人によって違いますよね。子供たちの学び方の違いもこれと同じです。

「できた!」「わかった!」という感動を味わうことが、学ぶ上での最大の喜びであり、モチベーションも高まります。大人たちはその手助けをすることが大切です。

※「こころのお便り」は、情緒通級の現役教諭が原稿を書き、深大出版で編集しています。

子育てに悩む保護者の方、児童を理解したい先生等どなたでもプリントしてお使いいただけます。